



ふれあい 放水路

1998
(平成10年)
第48号
3月



クリーンエネルギーを求めて 〜風力発電〜

出雲地方では日本海から吹き付ける厳しい季節風を避けるため、築地松や湊原から長浜にかけての松林など、独特の風景が生まれました。

先人たちの知恵や努力によつて防いできたマイナスイメージのこの強風を逆に利用し、新しい資源に転化しようと考えられたのが、長浜海岸の神戸川河口近くにある二基の風車です。

この風車は平成三年、国のモデル事業として建設されたもので、年間約七万八千ワットの発電が想定されています。これは一般家庭二十五世帯分の使用電力量に相当するもので、現在は風車の隣にある出雲衛生処理場へ送電されています。

地域の特性を活かした、限らないクリーンエネルギーを目指す先駆的な役割として、これからも将来の実用化に向けての開発が期待されます。「地球にやさしい」エネルギーを求めて、今日も風車はまわっています。

拡幅部で工事専用の道路をつくります

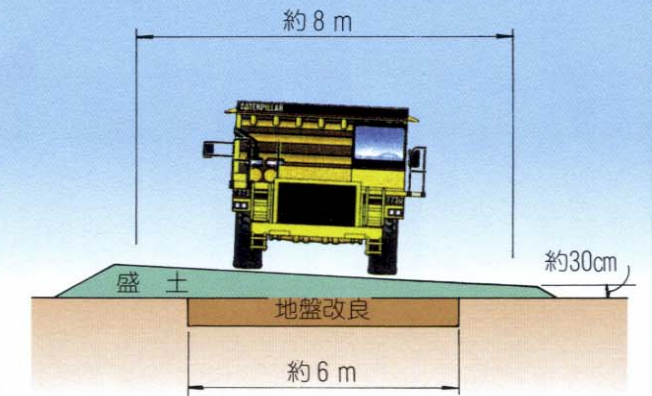
～斐伊川放水路工事用道路の概要～

拡幅部の掘削、築堤工事では大量の土を運搬するため、ダンプトラックの通行が多くなります。そのため、一般車両の通行にできるだけ支障を来さないように、放水路工事専用の工事用道路をつくります。

工事用道路は幅が1車線で約8mと一般道路の2車線分以上もあり、大型ダンプもスムーズに通れるようになっています。

道路の完成後、本格的な築堤工事に入りますが、当面は暫定的に1車線分をつくり、将来は必要に応じて2車線に拡幅する予定です。

標準断面図



ダンプが走る場所は約30cmの盛土を行います。また、地盤の状態が悪いところは地盤改良を行います。

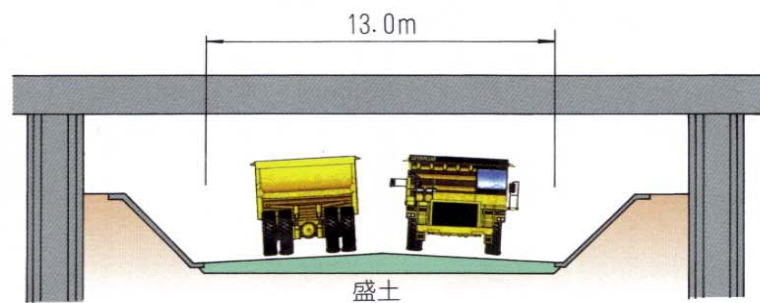
工事用道路完成予想図



市道と交差するところでは

工事用道路は現在の堤防の内側を通る部分と外側を通る部分があるので、堤防上の市道と交差する箇所があります。道路が交差するところでは、工事中は通行止めになりますので、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

橋と交差するところでは



橋と交差するところでは、図のように橋の下をくぐらせて工事用道路を通します。

拡幅部にある橋のうち、崎屋橋の右岸側、古志橋の両岸、馬木吊橋の左岸側については、桁下に余裕がないため、現道路と工事用道路が平面交差となります(○印部分)。工事用車両が通行する時は交通整理員をおき、一般車両の安全を確保します。

一般車両は工事用道路を通行できません。危険ですので立ち入らないで下さい。



工事用道路の盛土の土は開削部から運びます。

- 計画堤防
- 工事用道路

※工事の状況により変更になることがあります。

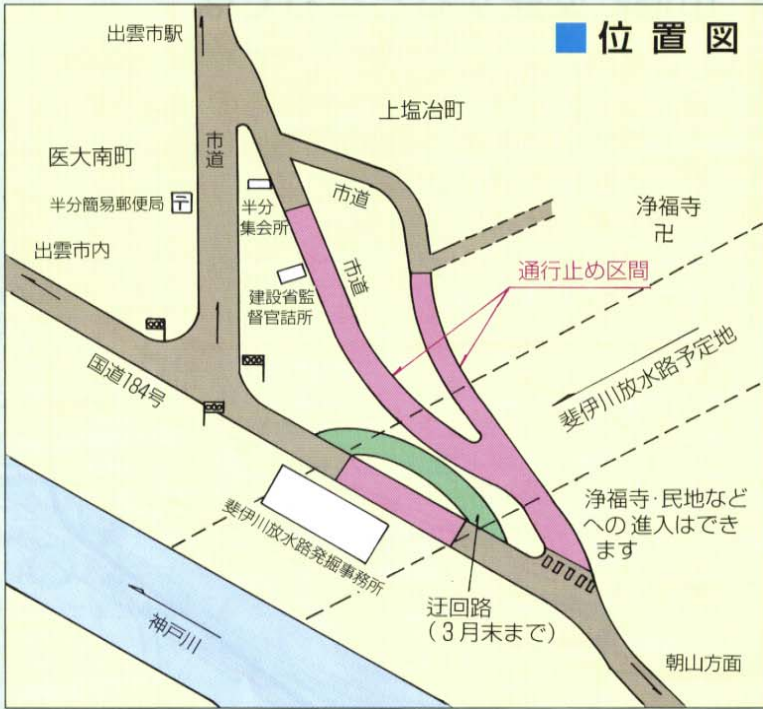
工事情報
コーナー



動き出した半分地区工事
～出雲市上塩冶町半分～

現在、出雲市上塩冶町の半分地区では、放水路開削部に新設される橋梁の一番手、半分大橋（仮称）の下部工事、雨水を一時貯留するための防災調整池工事、防災調整池から流れてくる水を神戸川へ流すための施設（樋管）の設置工事、塩冶水路工事と、次々に工事が始まっています。

二月二十五日には事業用地内で、地元の方や建設省、工事関係者の出席のもと安全祈願祭が行われ、これから本格的に進められる半分地区工事の安全が祈られました。



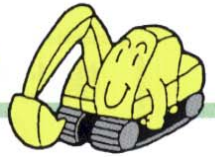
通行止めのお知らせ

半分防災調整池工事のため、左図区間の市道が全面通行止めとなっています。また、三月末まで国道一八四号の一部が迂回路通行となります。

* 問い合わせ先 建設省出雲工事事務所
監督官詰所
☎ (0853) 2214660



斐伊川放水路の工事実施状況



(平成10年2月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
古志橋上部工事	駒井鉄工(株)	自 H10年2月24日 至 H11年7月10日
斐伊川放水路朝山道路工事	今岡工業(株)	自 H10年3月11日 至 H11年2月28日

建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当

先月号の「B谷の土でつくった湯呑みと皿プレゼント」には155通の応募がありました。この中から抽選で50名の方にお送りします。
多数のご応募ありがとうございました。